

富山大学から地域のみなさまへ

Tom⁴¹

富山大学広報誌
|トムズプレス|

Tom's Press
Summer
2017
Vol.41

特集

知ってほしい！富大のココ！

2018年4月「都市デザイン学部」開設（設置申請中）
教員×卒業生×在学生 談話

経済学部

田尻 葵



「都市デザイン学部」とは？

purpose

学部の目的

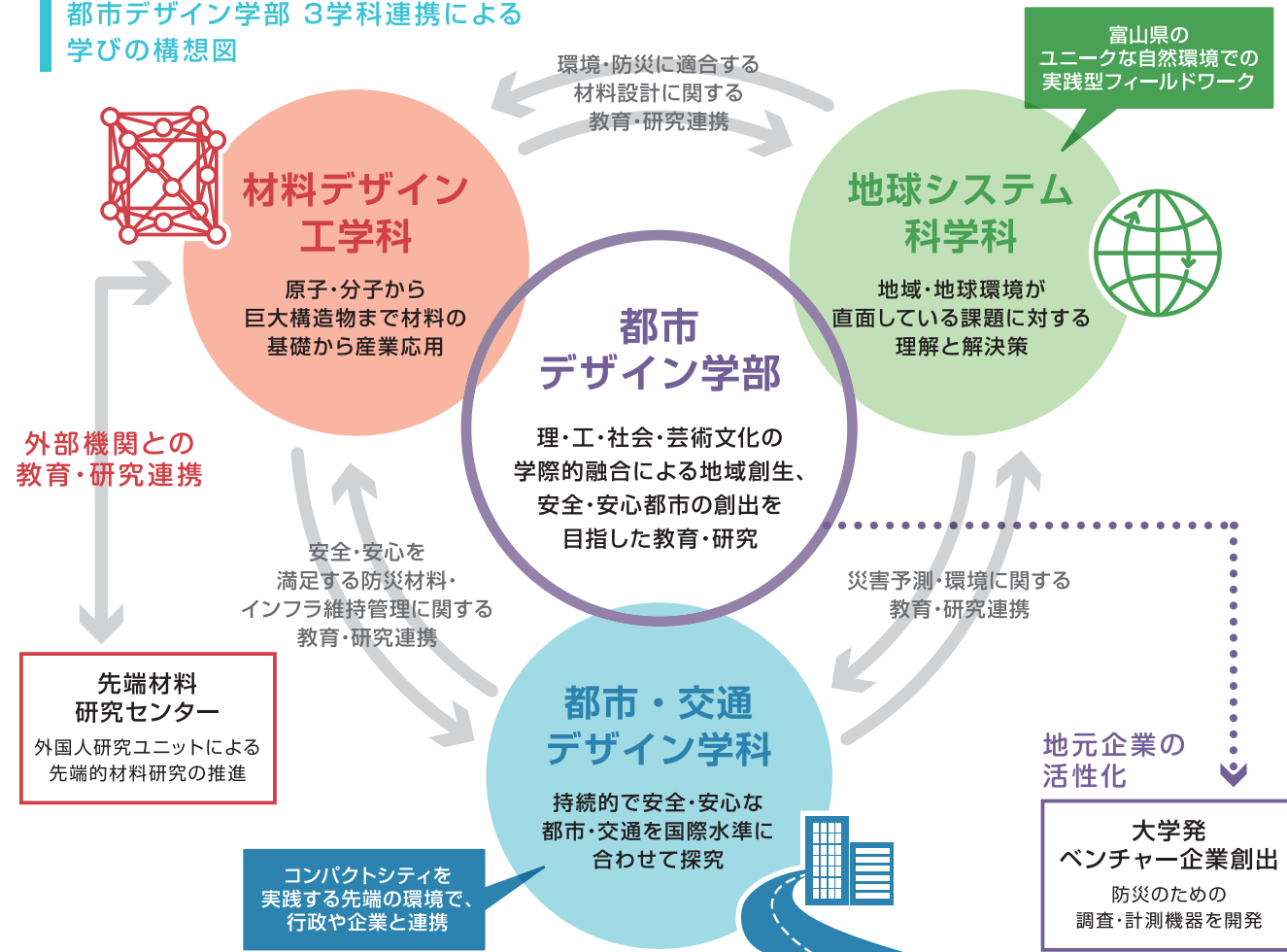
自然科学と科学技術を基盤とし、社会科学要素を加味した「自然災害の予測やリスク管理、社会基盤材料の開発、都市と交通の創造」に係わる特色ある国際水準の教育・研究を行い、デザイン思考に基づいた創造力を持って問題の発見・解決のできる人材を育成し、地域や都市の創生と持続的発展を通じて、人間社会と自然環境とが共生する理想的な社会の実現に寄与することを目的としています。

Point

学びの特色

- 壮大で美しい自然を有し、先進的な都市づくりを行っている富山を実践フィールドとして、都市デザインに必要な知識と技術を学ぶ。
- 3学科連携の体制で学び、安全・安心都市の創出と地域創生ができる人材をめざす。
- 地域と連携した実践的教育により、地域産業を活性化できる力を身に付ける。
- グローバル化に対応したJABEE認定プログラムにより、海外でも活躍できる人材を育む。

都市デザイン学部 3学科連携による学びの構想図



設置概要 (設置申請中)

学科構成 [入学定員] 地球システム科学科 [40名] / 都市・交通デザイン学科 [40名] / 材料デザイン工学科 [60名]

学位 学士(理学) 学士(工学) 学士(工学)

設置年度 2018年4月 設置場所 五福キャンパス

学科HPはこちらから!▶▶▶



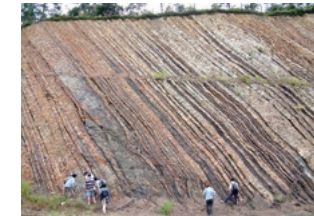
2018年4月開設 (設置申請中) 「都市デザイン学部」

—— この学びが、都市の未来を拓く。 ——



地球システム科学科

空と海と大地を学び、安全で安心な社会に貢献。



学びの3Point /

- 空から海・地球内部まで幅広く「地球」を知る
- 高低差4000mのユニークな環境を教材に地球の仕組みを学ぶ
- 「地球」の学びを安全・安心な社会のデザインに生かす授業科目

開設予定科目(一例)

一般地質学/地球内部物理学/火山学/気象学/雪氷学/海洋物理学/地史学/地球電磁気学/地球情報学/リモートセンシング学 など

CHECK 1 将来ここで働いているかも!

- 気象庁・国土地理院・地方自治体・気象情報関連企業
- 空間情報(GIS/測量)関連企業・地質・環境コンサルタント
- 土木・建設・資源関連企業・ソフトウェア開発企業 など

CHECK 2 役立つ資格・免許が取得できる!

- 技術士 ● 測量士 ● GIS専門学術士
- 地域調査士 ● 専門地域調査士
- 高等学校教諭一種免許状(理科) ● 博物館学芸員 など



都市・交通デザイン学科

22世紀を見据えた都市デザインを考える。



学びの3Point /

- 災害に強い安全・安心な都市を計画・建設できる
- 経済・文化、行政・社会も理解して都市・交通計画を学ぶ
- 一級建築士の受験資格(2年の実務経験要)も取得可能

開設予定科目(一例)

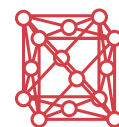
構造力学/地盤工学/コンクリート工学/水理・水工学/都市地域創生/都市景観/都市交通計画/設計製図/建築環境/建築設備/空間デザイン/建築計画 など

CHECK 1 将来ここで働いているかも!

- 官公庁(国土交通省等) ● 地方自治体 ● 総合建設業
- 都市再生事業者 ● 鉄道事業者 ● 高速道路事業者
- 建設コンサルタント ● 建築設計事務所・住宅メーカー など

CHECK 2 役立つ資格・免許が取得できる!

- 技術士 ● 一級建築士 ● 一級土木施工管理技士
- 一級建築施工管理技士 ● 一級造園施工管理技士
- 測量士 ● 高等学校教諭一種免許状(工業) など



材料デザイン工学科

ハイパーアルミの基礎研究から産業応用へ。



学びの3Point /

- 革新的新素材の設計・創造を目指す
- 富山の基幹産業、アルミ産業に資する教育・研究
- 防災・減災にかかわる材料の開発研究

開設予定科目(一例)

固体物性学/機能材料学/組織制御学/材料加工学/鉄鋼材料学/腐食・防食学/凝固・鋳造工学/溶接工学/計算材料学 など

CHECK 1 将来ここで働いているかも!

- 機械関連企業 ● 自動車関連企業 ● 土木・建設関連産業
- 船舶素材製造関連企業 ● 金属素材製造・関連企業
- セラミクス素材製造・関連企業 ● 鉄鋼材料製造・関連企業 など

CHECK 2 役立つ資格・免許が取得できる!

- 高等学校教諭一種免許状(工業) ● エネルギー管理士
- 毒物劇物取扱責任者 ● 高圧ガス製造保安責任者
- 安全管理者 ● 非破壊検査技術者 ● 危険物取扱者 など

※各免許・資格(受験資格含む)を取得するにあたって、それぞれ一定の条件が必要となります。

To be continued! さらに詳しい「都市デザイン学部」の情報は、次号「トムズプレス42号」へ!

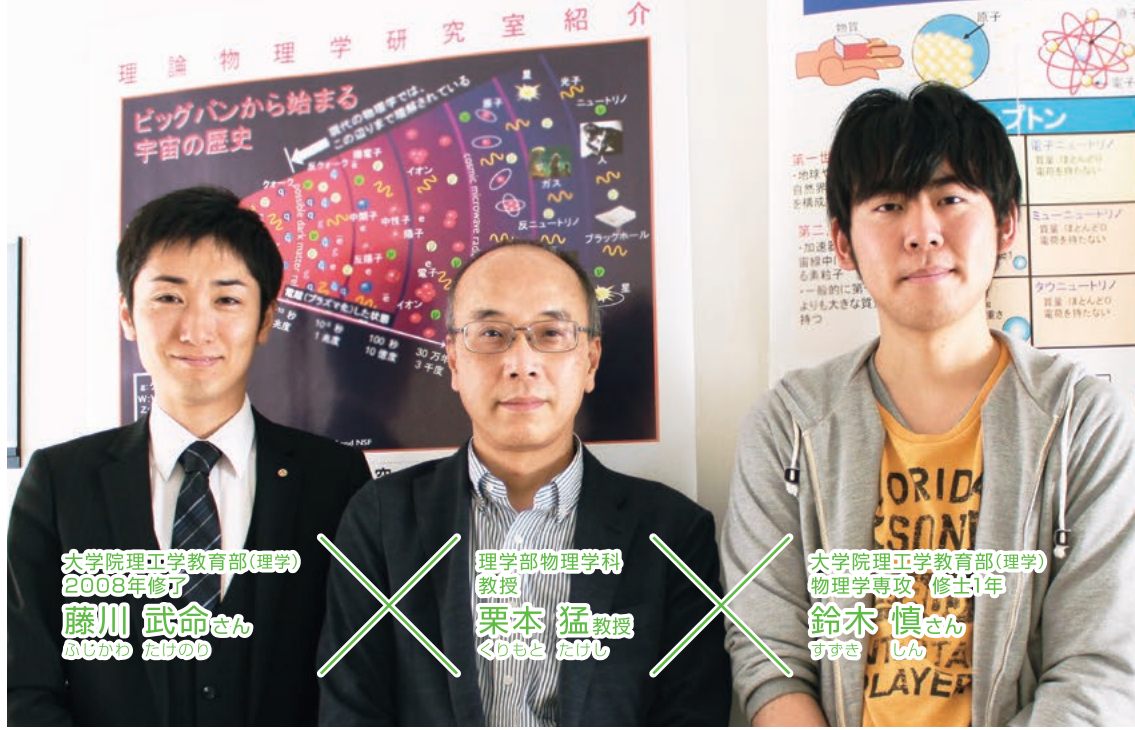
富山大学に、新しい学部が誕生!!

知ってほしい！富大のココ！

大話 富談

教員×卒業生×在学 生

理学部



大学院理工学教育部(理学) 2008年修了
藤川 武命さん
ふじかわ たけまさ

理学部物理学科 教授
栗本 猛
くりもと たけし

大学院理工学教育部(理学) 物理学専攻 修士1年
鈴木 慎さん
すずき しん

理学部って何を学ぶところ？計算？実験？研究？
日常の現象が起こるしくみや自然法則の有様を究めていく理学部。
学びの姿勢や物理の面白さ、富山大学だからできる経験を、語っていただきました！

研究を通して身に付く、自分で考える力

栗本 僕の研究室は、日本人が伝統的に得意とする理論物理をテーマにしていて、実験は行わずに、紙とコンピュータを使って研究しています。学生がテキストを元に予習してきたことを、教師になったつもりで発表し、皆で質疑応答を繰り返すという、伝統的なやり方です。

藤川 昔から理論物理の研究、特に素粒子関係のことを勉強したいと思っていて。理論で素粒子が研究できるというので、入学した時から、研究室を決めていました。

鈴木 物理を学んでいく中で、さらにその先を知りたいと、素粒子物理学を研究テーマに選びました。この研究室を選んだのは、環境が整っているし、熱心な先輩方もいらつしやるので、「自分が磨けるんじゃないかな」と思ったこともあります。

研究室では、物理やその他のことについても、ディスカッションできる友人や先輩ができました。それに、研究を通して、自分の考えを相手に伝えることができるようになりました。

藤川 栗本先生は、面白くて、自由な先生でした。いい意味で普通じゃないというか(笑)。
勉強や研究についての土台や枠組みを用意し、「あとは好きにしてみろ」と学生の自主性を重視してくださり、押さえるべき要点はきちんと

と指導してくださいました。

今でも思い出すのは、学生部屋のテイータイムのことです。誰かが持ち込んだ小さな強力磁石を繋げていると、偶然おもしろい動きで揺れる「やじろべえ」のようなものができたんです。すると栗本先生が「こいつのランジアン(方程式)を書けるか？」と問うんですね。ただの雑談が一瞬で物理に変化するんです。

高校の授業でも、目に留まったり話の流れで現れた事象について議論を展開しています。生徒は迷惑に思っているかもしれませんが、それが思考力や応用力に繋がると実感



栗本先生は、面白くて、自由な先生でした。

焦らずに一步一步 学問の土台を作って

栗本 物理と数学は、しっかりと土台の上に、積み上げていくことが大切な学問です。学生さんたちは、焦らずに一步一步足元を固めていく姿勢を身に付けて欲しいと思っています。

藤川 土台の部分ができていないと、少し進んだ時に総崩れになるというのは、自分自身で経験しました。修士の研究でほんの1行登場した箇所を解決するために、学部生の頃の教科書を引っ張り出して丸々1冊勉強し直した、ということが何度かありました。

今も、学生が理解できていないと感じたら、目の前のテストよりも、その部分で足踏みしてもしっかりと教えるということが、一番重要だと思って授業しています。

鈴木 僕は、今はとにかく勉強して、基礎力を付けるために、頑張っています。研究室では、論理的に考える力を重点的に鍛えて、それを他人の前で発表する力を付けていると思っています。



足踏みしてでも、土台を作ることが大切です。

富山大学で得られた 貴重な友、そして体験

藤川 富山大学を選んでよかったことは、卒業してから実感したんですが、この五福キャンパスに理系文系、いろいろな学部が集まっていることです。サークル活動などで、学部を越えた友人関係を作れたことが、大きな財産になりました。今も、いろいろな業界に進んだ友人から、話を聞いたり、助けをもらったりすることがあります。

鈴木 富山大学で素粒子の国際学会が開かれた時に、サポートで参加させてもらいました。第一線の研究者の話や機会もあり、貴重な経験ができました。

栗本 富山大学の規模は中小ですが、研究のレベルは劣るわけではなく、世界の一流に立っている先生がたくさんおられます。その先生について、可能な限り努力を続けられ、いろいろな分野で活躍することができれば、いいですね。

「就職に有利だから」という理由で進路を選ばないで、本当にサイエンスが好きで、入学してからサイエンスの面白さに目覚めて欲しいですね。



よく遊び、よく学ぶ。焦らずに一步一步進むことを身に付けてほしい。

高校生のみなさんへ！

答えを出すことを急がず、考える経験を大切にしたい。若い間は、悩んで答えが出なかった経験も必要。うまくいかない方法を見つけたことが、糧になります。ぜひ一度、今の目標以外の進路についても考えてみてください。

よく遊び、よく学べ。机の上の勉強だけでなく、サークル活動も含めて、遊びを通して経験することは、後になって役立ちます。勉強に対する地道な努力とともに、日常生活を通して、学問は身に付くと思います。

大学に入ることをゴールにしないで、そこから先に何をしたいか、好きなことを見つけてください。もし今見付からなくても、難しく考えず、大学では時間があるので、入学してから見付けて欲しいと思います。



藤川 武命
fujikawa takemasa



栗本 猛
kurimoto takeshi



鈴木 慎
suzuki shin

オープンカフェ AZAMI

正門すぐの開放的な雰囲気のカフェ。ドリンクのほか、焼き立てのパンやパスタなどを豊富に提供しています。スイーツを食べながら、テーブルイクしたいときはここで！

学生会館

館中にはコンビニやATMもあり、お昼時にはラウンジや外のウッドデッキに多くの学生が集まります。また、ホールや多目的利用室はサークル活動等でも利用されています。

多くの学部が集まる 五福キャンパス。様々な施設があるから、120%の力が出せる！

五福キャンパス Information!



自分が磨ける環境で、今はとにかく勉強です！

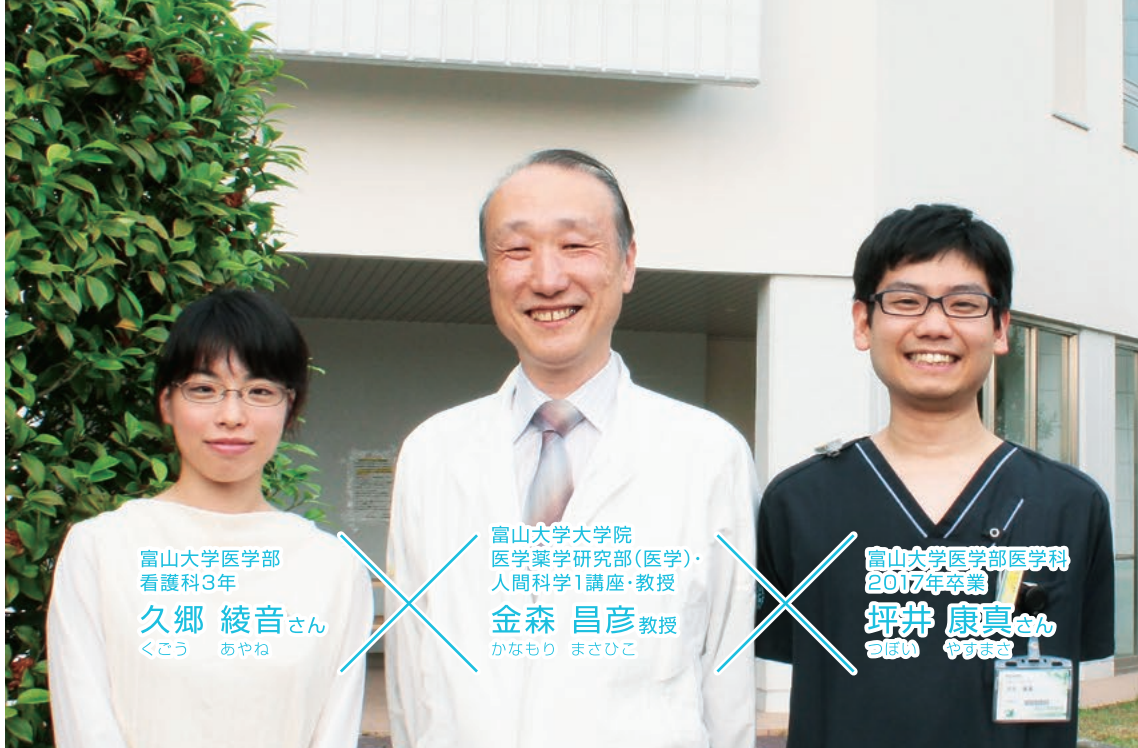
栗本 僕は、子どもの頃に手塚治虫先生のマンガを読んで、サイエンスに興味を持ったんです。だから学生さんたちがマンガを読める環境にしています。マンガの中にすごく夢があるし、内容について「理論化できないかな？」と、よく考えます。

藤川 そういえば、栗本先生の授業で、「でたためでもいいから、原理法則を仮定して、論文を作ってみろ」というのがあって、とても面白かったです。

栗本 「間違えてもいい、筋道をある程度出せばいい」という課題でした。3年生までは土台の力を育てる、4年生からはそれを基に考える力を付ける必要があります。会社に入ってもマニュアル通りのことはあまりない。自分で考える力を付けることが大切だと考えています。意欲的な学生には、刺激的な課題だったんじゃないかな。

鈴木 今も、新聞やマンガについてよくディスカッションしています。研究は長丁場なので、いいリフレッシュになります。

栗本 僕は、子どもの頃に手塚治虫先生のマンガを読んで、サイエンスに興味を持ったんです。だから学生さんたちがマンガを読める環境にしています。マンガの中にすごく夢があるし、内容について「理論化できないかな？」と、よく考えます。



富山大学医学部
看護科3年

久郷 綾音さん
くごう あやね

富山大学大学院
医学薬学研究部(医学)・
人間科学1講座・教授

金森 昌彦 教授
かなもり まさひこ

富山大学医学部医学科
2017年卒業

坪井 康真さん
つばい やすまさ

「医学」ってなんだか難しそう…。富山で医学を学ぶメリットは？
自然豊かなキャンパスで、未来の誰かのための医療を学び研究する富山大学の医学部。
医学部の理念や最先端の技術から、学生生活のことまでたくさん語っていただきました！

薬業県の歴史と自由な気風、
東西医学融合を理念とする
医薬品の連携が強い

金森 医学の発展、国民の健康維持、疾病予防の土台を作っていくには、医学・薬学・看護学を中心に、理学・工学など多分野との情報交換、技術連携することが大切です。

坪井 初期研修医として、整形外科で主に病棟の業務をしています。2年間の臨床研修でいろいろな科を回りながら、将来どの科に行くかを考えているところです。

久郷 富山大学では看護師と保健師のほか、希望者は助産師の資格も取れるので、将来は看護と福祉、どちらの道に進むのか、今はまだ迷っています。

金森 学生の間は医療者になった時に恥ずかしくない考え方や態度、マナーを身につける練習期間です。相手のことを思いやること、自分を主張しすぎないで、自分の価値を見出すことを学んでください。部活でも学外の活動でもいい、教室とは別の場所で行ういろいろな経験をして、自分の居場所を見つけて欲しいと思います。

坪井 僕は愛知県出身ですが、祖母の家が高岡にあって、よく遊びに来ていたので、富山には親しみ

があります。富山の雰囲気、人の温かさ、自然の豊かさ、ご飯がおいしいところが大好きです。

金森 富山は薬を中心に発展した薬業県なので、それをベースに杉谷キャンパス(前身は富山医科薬科大学)ができました。医療を担う教育環境として医薬品の連携が昔から強いのが特色で、看護学科の役割も大きい。学生さんにとっては、授業だけでなく、人と人の会話を通してうまく連携ができていくという強みもあります。

また、富山大学医学部の理念は「東西医学融合」。「薬学部附属薬用植物園」や「和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館」もあり、古い薬の資料をしっかりと取り取っています。私は、東洋医学の考え方に基いて、特殊な温熱治療法の臨床試験や、ナツメの研究も行っています。



学生がやりたいことを
私たちがサポートします。



先生や先輩との距離が近く、
多くの場面で支えられました！

先輩後輩の垣根なく
風通しのいい関係

金森 坪井さんは弓道部の主将として、60人くらいの部員をまとめて頑張っていましたね。

坪井 金森先生には、弓道部の部長として精神的に支えていただきました。僕が主将の時に、北陸地区の大会で団体戦準優勝することができた時は、うれしかったです。テスト期間と大会が重なる時も、時間をやりくりしながら皆で頑張りました。

弓道に対する向き合い方や、勉強との両立については、いろいろな考え方の人がいます。そういうことを、どう折り合いを付けるか、なるべく全員で一つの方向を向いて、部活をするにはどうするかということを工夫していました。自分一人で対処できないことは、先輩にアドバイスをもらうこともありました。先輩との距離が近いのは、杉谷キャンパスのいいところだと思います。

久郷 私も弓道部です。今年のゴールデンウィークにあった段級審査では、先輩の指導のおかげで、二段を取ることができました。いつも困ったことがあったら、先輩に聞いて、指導してもらっています。看護学科や部活では、すごくいい人たちに会うことができて、人のつながりに恵まれているのを実感しています。



「自分の選んだ道が正しい道」という言葉を大切にしています。

地域医療を支えるため
富山で最先端の勉強を

金森 医師の勉強は、全国ほとんど同じレベルです。富山には素晴らしい先生が多く、最先端の勉強ができます。富山で学んで、富山で働いて還元して欲しいというのが、私の願いです。医療者が富山で働くメリットは、同窓の仲間がいること、通勤が楽なこと、家族が身近にいますので、生活も仕事もしやすいことです。自分も家族も、周りの人もハッピーになれると思います。

坪井 5年生の夏ごろ、実習で先生方の熱意に触れたことが決め手で、富山大学への就職を決めました。他の大学を見学して決める方もいますが、僕はむしろその時間を勉強に充てることができて、良かったです。医師を志したのは、親戚の病気がきっかけでした。初志貫徹のため、頑張ります。

久郷 受験を考える時期に、親戚を在宅で看取った経験や出産で訪問看護師や助産師の働く姿を見て、「地域で看護の仕事をしたい」と、富山大学を選びました。高校の先生の「自分で選んだ道が正しい道」という言葉を支えに、頑張っています。

高校時代は受験勉強に終始せず、自分の将来を見据えるために、やっぱり自分と向き合うべき時だと思えます。医療の道に進むのであれば、隣人のために努力し続ける気持ちを持って、地域のためにその目標を叶えてほしいです。

部活や勉強で忙しくても、様々な仕事、学科について調べる時間も大切です。将来どのような勉強がしたいのか、どのような職業につきたいのか、そのためにはどの大学・学部に行けばいいのか、具体的に考えてみてください。



kanamori masahiko
金森 昌彦

profile
当講座では「医学の温故知人」をテーマに、新たな「がんの温熱治療(オンコサーミア)研究」、ナツメ(菓)の薬効や、ロコモ予防の研究を行っている。



tsuboi yasumasa
坪井 康真

profile
初期臨床研修医1年目として整形外科をローテーションしている。病棟診察や処置、治療方針の検討、手術の助手や外来予診などを担当。



研究 PICK UP!

ナツメの薬効を研究
東西融合の視点から、漢方薬「ナツメ」の成分・作用について研究。



温熱療法オンコサーミア
「温めて治す」次世代型腫瘍温熱治療器の臨床試験を実施中。

高校生のみなさんへ！

進路に悩んだ時は、やりたい！面白そう！という気持ちを大切にしてください。またオープンキャンパスなどで、実際に見て感じたことが一番進路決定に役立つと思います。目標に向かって頑張ってください。



kugou ayane
久郷 綾音

profile
形態機能学演習を選択受講し、人体の解剖生理について詳しく学ぶ。また実習や国試に向けてこれまでの復習に力を入れている。



薬用植物園

約2000種類の薬用植物を所有しており、その数は全国トップレベル。「くすりの富山」ならではの植物を観察・研究できる生きた教材となっています。



医薬学図書館

医学・看護学・薬学に関する図書を中心に約22万冊の資料を所蔵しています。教職員や学生は、開館時間外でも24時間365日利用することができます。

医学・薬学の分野に特化した杉谷キャンパス。未来につながる専門的な施設がたくさん！

杉谷キャンパス Information!

金森 学内においては、古いしきたりがありなく、いろいろな意味で自由なところもいろいろあります。研究も比較的自由にできますし、学生がやりたいことを、先生がサポートしてくれます。必要なら、国内外へ勉強に行くこともできます。

学生の自主性に任せているので、やる気がある学生さんには、やりやすいんじゃないでしょうか。

坪井 僕は基礎配属の時に、漢方薬を扱いました。



富山を好きになって、
富山のために働いてほしい。

知ってほしい！富大の「ココ」！

富大 大話

教員×卒業生×在学

芸術文化学部



芸術文化学部 准教授 沖 和宏 先生
おき かずひろ

芸術文化学部 デザイン情報コース 2016年卒業 田中 友野さん
たなか ゆうや

芸術文化学部 デザイン情報コース 2016年卒業 山本 美智さん
やまもと みち

芸術文化学部 デザイン情報コース 2016年卒業 小山 侑希菜さん
こやま ゆきな

芸術文化学部 デザイン情報コース 4年 木下 佑紀乃さん
きのした ゆきの

感性やセンスってどうしたら身につくんだろう…？デザインってどんなもの？
さまざまな角度で物事を捉え、わからない人に伝えるために考え、形にする芸術文化学部。
デザインの考え方から、芸文ならではの魅力まで、語り尽くしていただきました！

「伝わる」なら、汚くてもいい デザインの考え方を学ぶ

沖 研究活動としては、氷見商工会議所から市内の域内消費を拡大するため、グラフィックや、キャンペーンの相談を受けて活動しています。

教育面では、「目に見える情報で、人にどう影響を与えるか、人を操作できるか」の入り口を教えます。基本的には視覚情報で人に伝えるということ、視覚情報できれいなものを作るのではなく、「伝わるもの」を作るのではなく、「理解させること」が一番気を付けています。「伝わるんだしたら、汚くてもいいぞ」。

小山 印刷会社で、デザイナーをやっています。

沖先生には、デザインする時の心かけを教わりました。「売り場はどう見えるのか」「どういう人に買ってもらいたいのか」ということは、入社してからだと、なかなか習うことはできません。授業で心に残っているフレーズは、「デザインの考え方を学べるのが富山大学の強み」。自分で考えることが大事なんだと、教わりました。

山本 建築用の大型加工ガラスを作る会社で、建物のコンセプトに合ったガラスを提案する仕事をしています。

大学では、相手の本当の気持ちを読み取る勉強をしました。例えば「青い箱が欲しい」と言われた時に、「本当は爽やかな箱ではない

か？」と考え、「では、透明な箱ではどう？」というところまで気付けるか。要望の奥の本当の気持ちを読み取るという、本質的な部分を学ぶことができました。

田中 僕は、印刷会社の中でも、高級美術印刷を扱う会社で、プリンティングディレクターという仕事に挑戦させて頂いています。高い印刷品質が要求されるものや、変わった装幀の本になると、専門的な知識や印刷設計が必要になります。そういうときに紙やインク、印刷方式についてデザイナーさんと話し合いながら、データ段階から完成するまでをトータルでコーディネートする仕事です。

大学では自分でデザインを作っていたので、作り手の気持ちもわかります。デザイナーさんとお仕事をしていると大学での経験が生きているなと感じることが多々あります。

木下 先生の授業で、氷見商工会議所を通して、氷見ブリの加工業者さんの商品ブランディングをしました。

深いところまで考えなければモノは売れない。

コースを越えた交流で いろいろなことに気付く



たくさん挑戦をして、
学生生活をやり切れたからこそ、
今の自分があります！

沖 高岡キャンパスは、そこらじゅうにベンチやテーブルがあって、みんな学食のランチを持ち寄りたり、サツと集まってミーティングしたりしてる。コースに関係なく顔見知りな感じですね。

小山 パソコン室やゼミ室で、いろいろなコースの人と交流できるので、自然に顔見知りになります。違うコースの人の話を聞いたり、相談したりして、新しい発見をすることもあります。

それに、コースの扉が開かれているのもいいところです。気になる授業があれば、他のコースの専門授業も取ることができま

山本 私は、立体を勉強したくてデザイン工学コースに入ったのですが、視覚伝達に興味が出て、デザイン情報コースに転コースしました。

留学のチャンスも開かれていて、3年生の時に1年間フィンランドに交換留学生として、行かせてもらいました。

フィンランドは天気が暗いので、家の中で暖かい色使いをしています。気持ちを明るくしたり、心地よくなりするために、建物の中のデザインをすることを、初めて知りました。ただ単に「可愛い」と思っていたデザインが、その国に生きる人たちにとっては、すごく大事だったんだと気付いた時に、デザインのパワーを感じました。



「生きるために必要」という、
デザインのパワーを感じました。

チャンスには 思い切った挑戦を

沖 学生時代に、印象に残った出来事はありますか？

田中 氷見市役所さん、高岡市役所さん、金沢のギャラリーさんとの課外活動です。大学生という学生と社会人半々の自由な立場から色々な提案やチャレンジをさせて頂きました。そういう経験から今まであったことがない人に会う、新しい場所に行く、というようなチャンスは逃さず、学生の間に挑戦してみることが大切だと感じました。

沖先生は、最後の最後で背中を押してくれる先生でした。何かを表現していくにあたって学生は常に味方が少なく、心細いものだと思います。そんな中、課題発表や卒業制作の場において「自分のやりたいことをやったらいい」と後押ししてくれる数少ない存在でした。学生生活をやり切れたことは、今の自分の自信につながっています。

木下 沖先生は、卒業制作で、やりたいことをどう形にするかまとまらない時に相談すると、分かりやすい言葉に置き換えて、私の考えを整理してくれました。

今、グラフィックデザイン系で就職活動中です。「ジャケ買い」して良かったと思われるデザイン、パワーのあるデザインができるデザイナーを目指します。

進路は絶対に迷うと思います。何が正解か分からなくても、自分で決めて頑張るかどうかが決まれば、どう頑張っても、長く続けるか。リスタートすることになっても、「自分で決める」ことが大切です。



profile
富山スガキ株式会社のデザイナーとして、主に、医薬品・化粧品などのパッケージデザインを担当。将来は、商業印刷にも精通するデザイナーを目指す。

小山 侑希菜
koyama yukina
お仕事 PICK UP!
伸縮ネット包帯
企業のイメージに沿ったデザインを手がける。



向いているとか、やりたいことというのを、見付けてから動こうとしても、見つからないもの。若いうちは、3~4回リスタートが切れるのだから、向いてるかなーとか、やりたいかなーで、動いた方がいいですよ。



沖 和宏
oki kazuhiko

profile
グラフィック、広告デザイン、商品開発、パッケージデザインなど、視覚から入るデザインを幅広く扱う。人を動かすデザイン、視覚伝達の基本を学生に教える。

高校生のみなさんへ！

高校のときからデザインが好きで、ずっとデザインの勉強をしています。悩む時間があれば、やらなければならないことを、ひたすら頑張る。悩む時間に勉強する方がいい。考え方が体育会系なんです。



木下 佑紀乃
kinoshita yukino

profile
フリーペーパーを作るサークルで、取材内容を形にすること、情報を整理しデザインに落とし込むことを学ぶ。すごいグラフィックデザイナーになるのが夢。



鑄造室
ここは溶かした金属を型に流し込む鑄造の実習現場。金属が流れ落ちても大丈夫のように地面は土間になっています。鑄造の街である高岡との繋がりを感じる空間です。



コミュニケーションセンター
世界に認められた名作椅子がたくさんある。芸術文化学部ならではの洒落たアート空間。様々な打ち合わせの他、ゼミなどの授業にも使用されています。

文化・アート・デザインが
つまった高岡キャンパス。
感性を刺激する空間で
毎日楽しく過ごせる！

高岡キャンパス Information!



きれいなものではなく
「伝わるもの」を作ることが重要。

「デザインの考え方を
芸文で学ぶ」ことができました！

ました。プレゼンテーションをして、案を採用していただきました。初めてブランディングをやった、「こういう風に売りたい」「こういう風に売るにはこういうデザイン」と、深いところまで考えなくては行けないことを学びました。

沖 学生さんには、「自立すること」を身に付けて欲しいと思います。自分の経験で着想して、自分の行動理由を自覚して、動いて、見つけて、自分らしい理解の仕方をして、自分の言葉で説明すること。学生時代は、その入り口ですね。

グラフィックの話で言えば、今見ている面以外の面も回りこんで見るとか、多様に見なさい、多様に判断しなさいということ。それを突き詰めると、「自立しなさい」ということになる。

各学部・部局でのニュースや学生の活動、行事などを紹介します。

大学情報

News & Information

新入生対象の
立山合宿を実施

医学部・薬学部

杉谷(医薬系)キャンパスでは、5月12日から13日にかけて、医学部と薬学部の全新生約300名を対象に、国立立山青少年自然の家と室堂平にて1泊2日の合宿研修を実施しました。この研修は、立山の大自然の中で医学薬学の教育理念を学びとるとともに、学科の枠を超えた集団生活をとおして学生教職員間の交流親睦を深めることを目的とし、討論会やみくりが池周辺の散策等を行いました。



救命救急講習会

新入生対象の心肺蘇生講習を実施

医学部・薬学部

杉谷(医薬系)キャンパスでは、5月23日、医学部と薬学部の全新生約300名を対象に心肺蘇生講習を実施しました。この講習は、医療人の卵としての自覚を促し、いざという時に対応できるように必修科目「医療学入門」の一環として行われ、学生らは2015年に更新された国際的な心肺蘇生法のガイドラインについての講義を受けたあと、学部・学科を超えた11~12名のグループに分かれ、人形を使って胸骨圧迫や気道の確保、自動体外式除細動器(AED)の使い方などを学びました。



学生らが田植え実習

人間発達科学部

5月29日、実習科目「栽培技術実習」を履修する学生らが、富山市花園町の附属農場で「田植え」の実習を行いました。この実習は、特に将来教員を志す学生が、土と関わることを通じて、農業、食、環境への関心を培い、学校教育における栽培学習の意義や学習指導法、基礎知識・技能を身につけることを目的として、毎年行っているものです。

初めて田植えを体験する学生も多く、慣れないぬかるみに足を取られながら、一つひとつ手作業で苗を植えました。



人文学部公開講座

「人文学で読み解く世界の文化」

人文学部

人文学部では、5月20日より全5回シリーズで公開講座「人文学で読み解く世界の文化」を開催しています。受講者は、さまざまな専門分野の教員が案内する120分間の「知」の世界旅行を楽しんでいます。

- 第1回 5月20日(土) 大工原 ちなみ[アメリカ文学]
「極限状態に置かれたとき人間は—ホロコースト文学を読み解く—」
- 第2回 6月3日(土) 和田 とも美[朝鮮文学]
「受け入れる側の当惑—脱北者の登場する現代韓国の文芸作品—」
- 第3回 6月17日(土) 中澤 敦夫[ロシア文学]
「暮らしの中の宗教画—西田美術館所蔵のロシア・イコンを読み解く—」
- 第4回 7月1日(土) 小助川 貞次[日本語学]
「漢文訓読の再発見—古典時代の国際ネットワーク・プロトコル—」
- 第5回 7月15日(土) 奥村 謙[英語学]
「三流言語としての英語」



富山大学

オープンキャンパス2017

五福
キャンパス

8/4
FRY

人文学部
人間発達科学部
経済学部
理学部



8/4・5
FRY SAT

工学部
都市デザイン学部
(仮称)

杉谷
キャンパス

7/16
SUN

薬学部



8/4
FRY

医学部 看護学科

8/7
MON

医学部 医学科

高岡
キャンパス

8/5
SAT

芸術文化学部

お問い合わせ

富山大学 学務部入試課 TEL 076-445-6100
富山大学ウェブサイト http://www.u-toyama.ac.jp/

消化器・腫瘍・総合外科に
新教授着任

附属病院

大学院医学薬学研究部(医学)消化器・腫瘍・総合外科講座(消化器外科、乳腺内分泌外科、小児外科)に、藤井努教授が着任しました。藤井努教授は本邦における膵臓外科の第一人者であり、非常に有効な膵空腸吻合法として全国に普及しているBlumgart変法を開発したことで知られています。また膵がん治療においても、Conversion手術(切除不能膵がんを集学的治療で切除可能とする手術)や腹膜播種膵がんに対する特殊治療でも有名です。今後の外科教室の発展が期待されます。



ALL富山COC+シンポジウム等を開催

3月27日、「平成28年度ALL富山COC+シンポジウム~『信頼の循環』で生み出す富山創生2017~」を事業協働機関や学生等約130人の参加により開催しました。事業実施状況報告に続いて行われたパネルディスカッションでは、「COC+を一步先へ」をテーマに意見交換が行われました。

併せて開催した「学生によるCOC+地域連携研究助成事業成果発表会」では、採択された9組の学生たちが、1年間の研究成果をポスターにより発表しました。



立山・室堂平 積雪調査2017を実施

理学部

4月15日から17日にかけて、「立山・室堂平 積雪調査2017」を実施しました。この積雪調査は、毎年4月中旬に標高2450mの立山・室堂平において、富山大学理学部(島田互准教授、青木一真教授)が中心となり、様々な教育・研究機関が集まって、半年間降り積もった雪を科学的に調べるものです。今年も、地球科学科の学生など総勢81名で雪を掘りました。今年の立山・室堂平の積雪深は、5m88cm(4月16日現在)と例年並みで、今後の分析結果が期待されます。



霧の中で雪を掘り始める学生 雪を掘る学生 積雪断面観測中の島田准教授

第2回「生型鋳造 授業作品の
展示・販売」を開催

芸術文化学部

芸術文化学部では、5月14日から19日にかけて、授業で学生らが生型鋳造技法を用いて制作した42点の作品の展示・販売を行いました。これらの作品は、当初から商品化することを目的に、学生が「美術工芸品」とは異なる「販売」を前提にした「産業工芸品」の研究を行い、自身のアイデアで制作を行ったもので、適正な販売価格や消費者需要を学生が研究する「売る授業」の一環として、昨年度から実施されています。



インテック寄附講義

「経営学特殊講義(ICTと未来社会を考える)」開講

経済学部

経済学部では、4月11日から7月25日まで全15回にわたり、株式会社インテックの協力を受けて、寄附講義「経営学特殊講義(ICTと未来社会を考える)」を開講しています。本講義では、デジタル社会を生き抜くための基礎知識を身につけ、必要なIT/ICTを「道具」として使うことができる応用力を養うことをねらいとしています。第1回目は、専務執行役員・人事部長の林弘明氏より、ガイダンスを兼ねた全体の概要について講義が行われました。



講師の林弘明氏

富山県機電工業会特別講義
「創造工学入門セミナー」開講

工学部

4月から工学部の1年生を対象として、「創造工学入門セミナー」を開講しています。この講義では、学部教育の導入として富山県におけるものづくり技術に関する具体的な事例を通して、将来技術者として活躍するための目的意識の醸成と大学での学習の重要性について学びます。富山県機電工業会の会長でYKK株式会社副社長大谷渡氏が講師を務めた1回目の講義では、工学部1年生424人が参加し、富山県のものづくりの特徴・強みや技術者育成プログラムについて耳を傾けました。



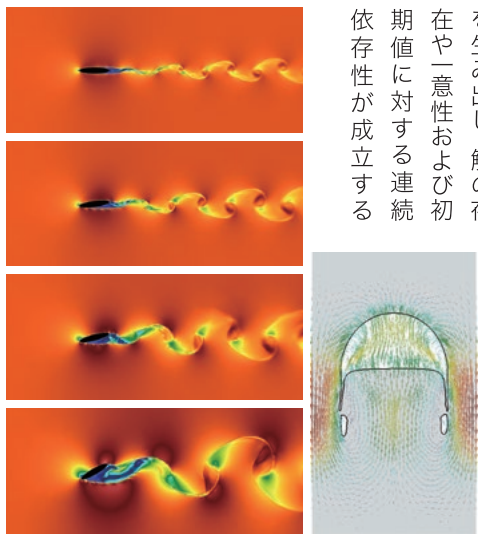
特別講義の様子

講師の大谷渡氏

シミュレーションと、 数学的アプローチで、 流体の運動の本質に迫る

ガリレオ・ガリレイの「宇宙は数学という書物で書かれている」という名言以来、あらゆる自然現象は、数学を通して根本を解明すべく研究されてきた。1800年代の中頃には、流体の運動の中の本質を抜き出していると言われる、非線形偏微分方程式「ナビエ・ストークス方程式(以下「NS方程式」)」が導かれた。この方程式は、21世紀に解くべき数学上の7大難問の一つとされ、現在も世界中で研究が続けられている。

山口准教授は純粋数学の立場から、NS方程式を研究してきた。ほとんどの非線形偏微分方程式では、解の表現公式を得ることができないため、方程式に固有の解析手法を生み出し、解の存在や一意性および初期値に対する連続依存性が成立する



コンピューターシミュレーションを用いた研究

かといった「適切性」や、さらに進んだ解の情報を、解の表示に頼ることなく調べると、

解の表現がないにもかかわらず、解の性質を知りたい場合、数学的なアプローチだけでもある程度は分かる。その一例が時間無限大における挙動で、観測開始時刻からかなりの時間が経過した際(時間を無限大に飛ばす極限操作を行う)の解の振る舞いについては、分かることは多い。一方で、飛行機の翼などが起こす空気の渦が形成される細かい過程や、翼の迎角に応じて後方に発生する渦の大きさを測るようなことは、現代の数学だけではかなり難しい。そのような場合には、コンピューターシミュレーションを援用することになる。

山口准教授が行っているのは、理論解析とコンピューターシミュレーションを用いた研究方法。シミュレーションで立てた解の予測を足がかりにし、それを元に数学的アプローチで研究する。その後また行き詰まったら、シミュレーションのコードに反映し……と、まさに理論解析とシミュレーションを車の両輪のように使って、流体の運動という難問に挑んでいる。

複合的な視点から、 問題をとらえ直す

流体の研究を続ける山口准教授だが、人間発達科学部では、この学部ならではの新たな可能性にも注

コンピュータ シミュレーションにより、 分子の小宇宙を探索する

文部科学省による「次世代スーパーコンピュータプロジェクト」や、「京コンピュータ」の共用開始、さらに「エクサスケール・スーパーコンピュータ開発プロジェクト」の進行などにより、今やウィルスの分子構造のゆらぎまでも、実験を行うことなく、計算でシミュレートできる時代となった。

「実験と比べると、シミュレーションでは分子の挙動が直接目に見えるので、直感的に現象を理解できます」と、石山准教授は語る。

人間が物質を構成する原子や分子の構造、その運動性を理解しようとする時、通常は光(電磁波)を物質に当て、その応答を観測するが、個々の分子がどのように振る舞っているのかは、なかなか見えにくい。しかし、分子シミュレーションを用いれば、原子・

分子の振る舞いを直接可視化できるため、原理的に、どのような現象も原子・分子レベルで理解することができると、

万能に見える分子シミュレーションだが、欠点をあげるとすれば、計算で扱える分子の数に限りがあることだ。例えば、私たちの身の回りには、基本的に 10^{23} 個のオーダーの原子・分子が存在しているが、計算で扱える分子数はスパコンを利用したとしても、 10^6 程度。そこで、数学や物理を駆使することにより、シミュレーションの中で、 10^6 個のオーダーの分子の場を作り出すといった手法を用いる。こういった手法の開発は、これまで計算できなかった問題を計算可能にするという意味で、非常に重要な研究の一つである。

現在の研究スタンスは「実験で分からなかったことを、シミュレーションで明らかにすることだが、「シミュレーションが予言したことを、実験で確かめる」というレベルにまで、手法を向上させる」という目標に向けて、日々の研究は続いている。

人類究極の 問いへのアプローチ

きっかけは、学生時代に出席した流体力学の分子シミュレーションの講演だった。教科書に当たり前の

目している」と言い。

「人間発達科学部は文系、理系のさまざまな分野がある小さな総合大学です。社会全体として解決しなればならない問題がある時、個別の側面から見ているだけではうまくい

かないことも、複合的な視点からとらえ直すと、意外なところ突破が見えてくることもある。文系と理系が融合したような研究ができるのは、まさにいるるな分野の人間がいる強みだ。数値シミュレーションを念頭に置いたプログラミング教育に携わるきっかけも、この学部での、ある先生との出会いがきっかけだったと言っ

「学生さんは、理論を研究するの面白いし、シミュレーションに興味があれば、そちらを研究してもいいと思います」。シミュレーションを積極的に使った研究の可能性は、さまざまな分野に広がっている。

理論解析と シミュレーションは、 車の両輪のようなもの。

理論と数値シミュレーションの両面から、ナビエ・ストークス方程式を研究。コンピューターシミュレーションを、数学的アプローチの足がかりとして、流体の運動の本質に迫る。学生にも、シミュレーションを積極的に使った研究の可能性を伝える。

数学とコンピューターで、
NS方程式を研究。
自然現象の本質に迫る。

人間発達科学部 人間環境システム学科
准教授

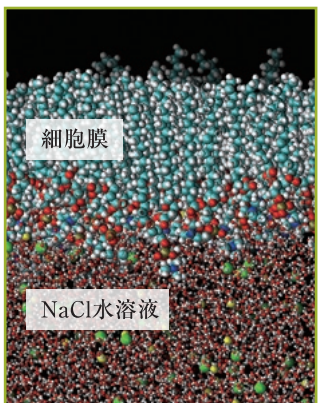
山口 範和
やま ぐち のり かず



ように書いてある流体力学の法則は、分子レベルで考えてみると非常に良く理解できることに感動し、またそういった統計物理学の法則が、場合によっては分子レベルで破綻することも、シミュレーションで理解できることを知った。

「分子シミュレーションは、物理や化学現象を理解するに当たって、対象をスパッと切り開くことができる万能ナイフのようだ」と直感的に感じた石山准教授は、その後、分子シミュレーション手法の開発や、それを使った新しい理論の構築、生体適合性材料の開発や創薬設計の指針を与えるような研究まで、幅広い研究を行うこととなる。

「私たちの体は、どういった仕組みで機能している、その部品が壊れたらどう治せば良いのか?」。人類の究極の問いを解明するアプローチとして、分子シミュレーションという手法が主力になる時代は、すぐそこまで来ているのかもしれない。



細胞膜とNaCl水溶液の
分子シミュレーション

分子シミュレーション による(生体)高分子の 分子構造を研究。

スーパーコンピュータやクラスターマシンといった大型計算機を使って、分子の運動を物理法則に基づいて計算。これにより、実験では見えにくい分子の詳細な挙動が明らかになり、生体適合性材料の開発や創薬設計への指針が開かれる。

分子シミュレーションを
用いて様々な物理・
化学のしくみを解明する

工学部 環境応用化学科
准教授

石山 達也
いし やま たつ や



舞踏研究部(ぶとうけんきゅうぶ)



富山大学に競技ダンス部が発足しました! 競技ダンスは社交ダンスをスポーツ化したもので、芸術性と競技性が共存した魅力的なスポーツです。二人一組で踊るところに最大の特徴があり、二人でなければできない技に挑戦し、身体表現を追求していくという醍醐味があります。毎週木曜、金曜の18時頃より杉谷キャンパス第二体育館で活動しています。昨年度に発足したばかりの部活ですが、現在部員10名ほどで、時にOBを交え楽しく踊っています。夏には合宿を予定しており、学祭ではデモンストレーションも行う予定です! クリスマスにはダンスパーティーもあります。皆初心者からのスタートです! 大学生活何かに熱中したい、新しいことをはじめたいと思っているあなたにはぴったりの部活です。見学、体験はお気軽に! ポールルームへようこそ!

twitter ▶ @toyamabuken1 にもお気軽にお問い合わせください。

富山大学教職学生サークル「おわら」



みなさん、こんにちは! 富山大学教職学生サークル「おわら」です。私たちはより良い教師になるために、模擬授業や子ども相手に使えるミニゲームの練習などを行っています。20名程度の学生で、毎週水曜日の19時~21時、主に富山大学の学生会館で活動しています。また、現役の先生が来てくださり、授業のスキルを教えていただいたり、現場のお話を聞かせてくださったりします。真面目なサークルだと思われがちですが、活動中は笑顔が絶えないほど個性溢れるメンバーたちがいます! さらに、全国各地に姉妹サークルがあり、同じ志を持った仲間ができます!! その仲間たちと、授業力で競い合う「インカレ」もあり、毎年熱戦が繰り広げられています。教師になろうと思っている方、人前に立つことに慣れたい方は是非一度、「おわら」に足を運んでみてください!

英語卒論執筆で「語学とメンタルの基礎体力」を養成

大学時代、私はアメリカ言語文化コース(当時)で文学や映画を研究し、作品の背景となるアメリカの生活・文化や歴史について学びました。在学中カナダへ語学研修に行き、卒業後さらにカナダで学びたいと考え、オタワ市のカールトン大学大学院で応用言語学を学びました。修士号取得ののち帰国し、地元福井県の製薬会社に就職。社内文書の翻訳や会議通訳業務を担当したのち、現在は主に治験薬開発関係の業務に携わっています。学生時代の専門とは異なる分野のため毎日勉強ですが、やり甲斐ある仕事です。

富山大学在学中、最も勉強になったのは、卒業論文制作です。私は卒業後も兼ね、英語での執筆に挑戦しました。テーマは、ハリウッド映画におけるアメリカ先住民のイメージについてで、指導教員の赤尾千波先生とオンライン・フェダーホルト先生のご指導のもと、英語論文独特の論理的展開や、文章構成の基礎を学びました。この経験は「英語の基礎体力」を付けるもので、のちに本場に役立ちました。後輩の皆さんには、在学中に興味のある分野を是非見つけて頂きたいと思えます。そして、留学を志す場合、英語論文執筆に挑戦することをお勧めします。海外では、自ら求めていかないと、誰も世話を焼いてはくれません。在学中に、語学とメンタルの基礎体力を強化し、実りのある留学生活を送られることを祈念致します。



田中 由絵さん

●勤務先/マイラン EPD 合同会社
●卒業年月/平成10年3月
人文学部言語文化学科 卒業

Message from TOMIDAI OB&OG

Hello ハロー先輩

私は、富山大学を卒業して富山赤十字病院で薬剤師として働いています。現在は脳外科と整形外科のある病棟において、服薬指導や投薬管理などの病棟薬剤業務を主に任せております。またそれだけでなく、昨年の熊本地震の際の災害救護活動や学会発表など様々な事を経験させて頂いております。今振り返ると、大学時代は助ける事の大切さや固定概念に囚われない多様な考え方を学ぶ事ができたのではないかと思います。同期に恵まれ、困った時に助け合ったり、テスト前に勉強を教え合ったりと仲間の大切さを知る事ができました。

また、学部4年からは医療薬学研究室に所属し、藤教授と辻准教授、岡崎助教にご指導を頂きました。研究室では、今ある薬をより良く使う事ができないかという目標を持って、基礎研究や臨床研究に携わらせて頂きました。教科書の内容を鵜呑みにしてきた私にとって、研究では上手くない事もたくさん経験しました。しかし、先生方や先輩・後輩のおかげで、視野を広げてより柔軟な考え方ができるようになりました。社会人となつて、大学時代の経験が生かされていると感じます。仕事をしていく上で様々な人と協力していく必要があります。また、患者さんのために何ができるか考える時に幅広い考え方も必要です。今、大学生の皆さんはぜひ、一緒にいる仲間と様々な事に挑戦し、充実した学生生活を送って下さい。



五十嵐 信生さん

●勤務先/日本赤十字社 富山赤十字病院
●卒業年月/平成24年3月
薬学部薬学科 卒業

メールアンケートのお願い

富山大学広報誌「Tom's Press」の今後のより良い誌面作りのため、皆様からのご意見やご要望をお待ちしています。本号のアンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で3名様に「富山大学ロゴ入りジェルボールペン(3色セット)」を進呈いたします。そのほか、アンケート回答者全員に記念品をお送りいたします。

富山大学ロゴ入り ジェルボールペン 3色セット

【プレゼント応募締切】
2017年8月20日(日)必着

- 【回答項目】
1. 本誌を読んだきっかけ(「〇〇(施設名)に置いてあった」など)
 2. 本号で興味を持たれた記事とその理由
 3. 表紙デザイン、誌面構成、内容など全体的な感想または印象
 4. 関心・興味のある分野、これから取り上げてほしいテーマ、その他ご意見・ご要望
 5. 年齢・性別
 6. (プレゼントをご希望の方)お名前、ご住所

【メール送付先】 catch@adm.u-toyama.ac.jp
回答項目1~6について、メール本文に記載の上、上記宛先までお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送以外には使用いたしません。また、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

大学生協で販売中



富山大学 公式 SNS
新着情報やニュースを発信しています。

facebook
https://www.facebook.com/univ.toyama
twitter
https://twitter.com/univ_toyama

Google+
https://plus.google.com/111877087485633174689/
富山大学チャンネル YouTube
https://www.youtube.com/tomidaimovie

- 01 大和高岡店1階アトリウムの展示風景。左から小原流、中と右は草月流の生け込み。
- 02 華の美と器が共鳴し、躍動感ある展示空間が生み出されました。
- 03 水盤の形と花木の造形が見事に調和(池坊)。
- 04 耳の形が特徴的な《唐子遊園小水盤》(小原流)。
- 05 《花文花器》に胡蝶蘭が映えていました(池坊)。
- 06 御旅屋セリオ6階特設会場の展示風景。松の実や菟など特徴的な脚をもつ花器が展示されました。左の水盤は小原流、右2点は草月流。

TOM'S GALLERY

GEIBUN COLLECTION 2017 in OTAYA

—富山大学芸術文化学部・近代青銅花器 大郷コレクション—

芸術文化学部所蔵「大郷コレクション」の展示が、3月24-26日に高岡市中心市街地である、御旅屋セリオ・大和高岡店で開催されました。同コレクションは、富山市出身の華道家・大郷理明氏より芸術文化学部へ寄贈していただいたもので、鑄造花器を主とする特色ある工芸作品群311点から構成されています。同学部工芸史・工芸技術史研究室室長大熊敏之教授の展示監修により、その中から37点を選出され、1階アトリウムと6階特設会場に展示されました。うち12点には、北日本新聞カルチャーパーク高岡に教室をもつ、池坊、小原流、草月流の3流派の華道家の方々によって花木が生けられました。青銅花器の名品に、季節の花や緑が息づき、街中の日常が、特別な美の空間へと変容しました。

同じ時期、高岡キャンパスでも、「大郷コレクション」を含む芸術文化学部の収蔵品を紹介する展覧会「芸文コレクションpreview - ほんの、さわりの30点」(3月22日-4月7日)が、工芸史・工芸技術史研究室主催で開催されました。

芸術文化学部では、収蔵品を紹介する展覧会が引き続き開催されることとなっております。ぜひ一度、ご覧ください。

〈芸術文化学部／講師 松田愛〉



01



02



03



04



05



06

富山大学広報誌 トムズプレス

発行日：平成29年7月12日

発行：国立大学法人 富山大学

編集：トムズプレス専門部会

- 菊池 万里 大学院理工学研究部(理学)教授
- 赤尾 千波 人文学部 教授
- 南部 寿則 大学院医学薬学研究部(薬学)准教授
- 内藤 裕孝 芸術文化学部 講師
- 小泉 柱一 和漢医薬学総合研究所 准教授

問合せ先：富山大学総務部広報課

〒930-8555 富山市五福3190

TEL 076-445-6028

FAX 076-445-6063

E-mail kouhou@u-toyama.ac.jp

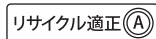
<http://www.u-toyama.ac.jp/>

TOM'S PRESSはインターネットでもご覧いただけます。

本誌は、富山大学構内などで無料配布しています。郵送を希望される方は、住所・氏名・年齢・性別・職業を明記の上、メール又ははがきでお申し込みください。

本誌は、年4回、3ヶ月毎に発行します。ご意見、ご要望を是非お聞かせください。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。環境に配慮した紙と植物油インクを使用しています。



無断転載はご遠慮ください。

印刷・製本 能登印刷株式会社

ISSN 1880-6678

Cover Story

たじろ あおい
「田尻葵」 経済学部3年・石川県出身

富山大学経済学部経済学科で学ぶ田尻葵さんの原点は地元である石川県七尾市で過ごした思い出。「海で運動会をしたり、漁師の祖父が大きなアワビを採ってきてくれたり。(幼少の頃(表紙写真)は食べられなかったけど今は大好き!) 当時は普通だと思っていたことが特別なことだったんだと今改めて思います。それと同時に過疎化が進む七尾市の現状に寂しさを感じています。」将来は公務員になって地元の活性化に貢献したいという。そのために大学では経済学や法学などを意欲的に学んでいる。「経済学を学びながら見てくる七尾市の良さを多くの人に知ってもらいたいです。」と話す彼女の笑顔に、私達もふと自分の地元のことを考えた。地元のために私達は何かができるのだろうか。

表紙・インタビュー担当/村井美月 寺西茉莉
撮影/寺西茉莉 (すべて芸術文化学部生)
表紙監修/芸術文化学部 准教授 渡邊雅志

